

全国一級河川の水質調査結果について



The Knights

国土交通省では毎年 7 月に全国一級河川の水質調査結果を公表しています。2020 年度「水質が最も良好な河川」に選ばれたのは 16 河川で、常願寺川(富山県)と四万十川(高知県)は初めて選ばれました。また、川辺川(熊本県)は 14 年連続で選ばれました。なお、「水質が最も良好な河川」とは、国土交通省が実施している調査において、各調査地点の BOD の年間平均値及び BOD75%値について、全調査地点で平均を取った値が 0.5 mg/L である河川になります。

BOD または COD の環境基準を満たした調査地点の割合は 89%(881 地点/990 地点)で、河川では 95%(842 地点/890 地点)でした。関東地方では、BOD または COD が環境基準を満たした調査地点は 167 地点中 128 地点で、全体の 77%となり、近年 10 年で横ばい傾向です。

また、水質事故の発生件数は 875 件で近年減少傾向になっています。関東地方では、水質事故の通報件数は 212 件で、2018 年と比較すると 31 件減少していて、2014 年から減少傾向です。なお、水質事故における原因物質の 67%が油類の流出によるものでした。

当社では、河川水等の環境水分析に加え、排水分析の各種項目についても長年の実績があり、短納期・多検体での対応が可能です。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談ください。

資料 [2020 年 7 月 1 日付 国土交通省報道発表資料](#)

環境検査箇所 武井友宏

消毒副生成物の検査の期間です！

特定建築物に該当する建物は、定期で水質検査が義務付けられています。中でも消毒副生成物の12項目は、水質検査の実施時期が決められており、6月～9月の間に実施する必要があります。詳しくは下記URLからご覧いただけます。

特定建築物における水質検査:<http://www.knights.jp/knightsreport/reports/KR08005.pdf>